

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 199 号 2014. 11. 25



去年に増して宣伝が行き届いているのか、お客様の大半は、無肥料無農薬の販売であることを意識して、買いに来られていました。体の不調が原因で食に気づかわれている方、お子さんの食を憂いている方、これからの農業のあり方を訴える方等々、多くの方に、岡田茂吉師による自然農法のことをお伝えしました。販売結果、2日間で529人の方がお買い上げになり、ほうじ茶900杯以上を試飲として提供し、多くの方との繋がりを持つことができました。

われら「むせひ屋」スタッフの感想や報告を集め、その一部を以下にまとめました。

「鳥の骨のビン実験(市販と山本農園の鳥の骨比較)をお見せし、農薬、肥料だけでなく、薬の問題や、薬を使わない生活ができることもお伝えし、関心を持っていただけた」「子どもに予防接種をしないで育てている若いママさんにほうじ茶を買っていただけた」「鎌ヶ谷頒布会をご存知の自然食品店の方にも出会い、携わる者としてうれしく、鎌ヶ谷の頒布会に来場されるのを楽しみにしている」

「無施肥無農薬の作物を求める方々の熱い気持ちと、無施肥無農薬栽培を広める方々の熱い気持ちに触れ、良い刺激を与えられ、今後の糧となった」「前日来て買ったんだけど、また買いにきた！とおっしゃる方や、ひとつ買って、会場を回ってまた二度三度と来られるリピーターが多かったことが印象的」「ほうじ茶の試飲呼び込み担当だったが、多くの方がおいしいと言ってくださり、うれしかった。何人かの他の店の方とお話しできてよかった。これからも交流を深めていきたい」

「無施肥無農薬栽培が最先端の農業だと実感したので、自信を持って人にも話せると思った。そして、もっと食の知識を学んで、人にお伝えできるようにしていきたい」「名刺を下さった方が2名。お一人はお店をしていて、すべて自然の作物を揃えるのが難しく、色々探しているとのこと。もう一人は営業マンを退職し、NPOの会員になり、同じようなフェアを開催するため、参考のために来たとのこと。健康を強く意識していて、その根本は食ということに気付いたとのこと」

TOREK「むせひ屋」一同、本当の自然農法が広まるよう、これからももっと積極的に取り組みたいです！

TOREK 自然農法 農産展!

11月3日展示日、出品者64名、出品数369点でした。ダイコンやサツマイモなどいろいろな秋野菜、稲穂がずらりと並べられ、生産者のコメントを読みながら、愛情こもった作物を鑑賞しました。びっくりするほど大きく育った野菜もありましたが、サトイモなどは地上の部分(葉)が小さくても、地下のイモはたくさんついていたりと、ゴマは草丈が短くても実は多くつき、かえって収量が増えたなど、自然の力を感しました。



健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

自然栽培フェア! スタッフ 町田俊明

10月25、26日、多くの方に支えられて挑んだ中野での自然栽培フェア、無事完走しました。昨年一度経験しているとは言え、まだまだ外部イベントは手探り状態、仕入の量やら品物の状態やらと、メールや電話で確認しながら、ギリギリまで喧々諤々でした。

今年は風もなく穏やかな天候に恵まれ、大勢の来店者との会話も弾みました。皆様の意識が非常に高く、質問も「無農薬ですか?」等といったものはほとんどなく、土年数や種の年数を聞かれることが多く、無肥料二十数年の土年数に驚嘆の声を頂き、TOREKも向上しなければと気のひきしまる思いでした。

生産者にお話をきくコーナーがありました。熊本の渡辺さんは、地域に害虫のウンカの被害がよくあるそうですが、無事に被害を免れ収穫することができ、無施肥を続けていく自信が付き、たとえもしウンカの被害に遭ったとしても、それを受け入れ、「とれただけでいい」という感謝の気持ちでされているとのこと。同じく熊本の中尾さんは、無農薬にすることで、年々少しずつ畑が自然に戻ることを感じたそうです。それまではいつも何かを追われているような気がしていたが、心が豊かになり、せっかちでなくなった、皆さんに愛されるような自然なお茶作りをしていきたいとのこと。



生産者と交流できる11月16日販売日も盛況

福井の富田さんは3日と16日の販売日にも来られ、宅配で購入している方の顔も少しずつ分かるようになり、お話しできてうれしかったとのことでした。(編集部)

緑茶ティーバッグを世界へ スタッフ 吉野紀美子

この度、緑茶のティーバッグ(英語版・日本語版)販売となりました。

この緑茶は、平成19年より岡田茂吉師の自然農法に取り組む、熊本の中尾要介さんによって栽培された、やぶきた茶の新茶で作られたものです。今回の販売のきっかけは、今年7月、船橋グループのスタッフと熊本の生産者の方々との交流会を行いました折に、中尾さんの茶園に行き、「自然農法の茶葉で緑茶のティーバッグを作ってみたらどうですか?」という話になりました。緑茶は海外の方にも人気があり、また岡田茂吉師の自然農法が日本のみならず世界へ普及されていくきっかけになればとの思いを、販売元の渡辺義文さん、中尾さんにお話しすると、快く引き受けてくださり、製造の運びとなりました。



スタッフとラベル作りへと進む中、自然農法を英文でどのようにお伝えしたらよいのか、また文化も違うので、どのようにしておいしく飲んでいただけるかを試行錯誤しながら作成しました。英語版ではTOREKの国際部のアドバイスをもとに岡田茂吉師の無施肥無農薬栽培の説明を表記いたしました。

早速アメリカの方が飲み、「自然の土の香りがする」「渋みがいい」「世界のお茶をいろいろ飲んでくれるけれど、このお茶はおいしい」などの感想を持たれたそうです。また、周りに外国の方がいるとことで買われる方、ティーバッグは手軽で飲みやすいと求める方がいます。

中に26袋入って1000円で販売しております。英語版には生産者を紹介したパンフレットを入れております。2020年には東京でオリンピックも開催されます。少しでも「真の自然農法」「Nature Farming」を世界の人々に知っていただけるよう、グリーンティーを通して普及に努めたいと思います。



お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 11月28日(金) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 11月26日(水)、12月19日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了
- ★ 自然農法頒布会 12月13日(土) 東中野会場 10:00~ 売り切れ次第終了
- ★ ほっと縁日 11月30日(日) 赤羽公園 10:00~15:00 むせひ屋が出店します!

無施肥無農薬栽培物の販売予定

12月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶(ミホ'ックも有り)
- きじま平自然農産: 納豆、赤いんげん豆、米粉、甘納豆、白米、もち米
- 菜園 金野: 大根、カブ、サツマイモ、サトイモ
- 中島農園: 自然のリンゴ、長ネギ、下仁田ネギ、ホウレンソウ、ジャガイモ、カブ、チンゲンサイ、梅干
- ジョリフィユ: カボチャのモンブラン、ふすまのガレット、カスタードプリン ほか
- 長柄山自然農園: 卵、ひき肉、鶏ガラ

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>